

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	論理国語	単位数	3 単位	学年・学科・コース	3 年スポーツコース・衛生看護科
使用教科書	三省堂「精選論理国語」			副教材等	総合文字力（漢字）尚文出版

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	スポーツとナショナリズム 「である」と「する」こと	・スポーツとナショナリズムの関係を考察する。 ・「市民社会」における権利と義務について考える。	○			・論証したり、学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。	授業態度 定期考査 小テスト 課題
6	情報ネットワーク社会	・情報ネットワーク社会の課題を明らかにする。	○			・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解をしている。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を捉えている。 ・進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、様々な資料を調べて発表したり話し合ったりしようとしている。	
7 8	「私」消え、止まらぬ連鎖	・高度消費社会における「欲望」について考える。	○			・論証したり、学習した基礎語句を文章の中で使用したりすることを通して語彙を豊かにしている。 ・実社会の事柄について、様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・進んで論証したり、学習の見通しをもって、様々な観点から情報を収取したりして、自分の考えを論述しようとしている。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9 10	コンクリートの時代	コンクリート建築から「近代」という時代の特徴を考える。	○			・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	授業態度 定期考査 小テスト 課題
				○		・ 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	
					○	・ 進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って他者との関係性の構築について、自分の考えを述べようとしている	
11 12 1	生命との関わりー精神科医として	生命と「相互主体的にかかわる」とはどういうことか考える。	○			・ 文章の種類に基づく効果的な段落の構成や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	
				○		・ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	
					○	・ 進んで筆者の主張を理解し、学習の見通しをもって社会に対する見方や考え方を深めようとしている。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	国語表現	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年普通科・スポーツコース
使用教科書	国語表現(東京書籍)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	6話し合う力をつけよう	・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。	○			・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深めている。	定期考查 授業態度 小テスト 課題
				○		・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなどの工夫をしている。	
					○	・ファシリテーションの意義や技法を粘り強く理解し、学習の見通しをもって話し合いの中で積極的に実践しようとしている。	
6	7情報活用力を身につけよう	・正確な情報を見極め、目的に合わせて効果的な表現を発信する。 ・相手にとって理解しやすい表現を身につける。	○			・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。	
				○		・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。	定期考查 授業態度 小テスト 課題
					○	・学習課題に沿って読み手に伝えたい情報を吟味し、話し合いながら協力して、よりよい広報資料を作ろうとしている。	
7 8	8説得力のある提案をしよう	・効果的で印象的なプレゼンテーションの仕方や、説得力のある表現について理解する。	○			・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	
				○		・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。	定期考查 授業態度 小テスト 課題
					○	・プレゼンテーションを通して、説得力のある提案をするために必要なことを粘り強く理解し、今までの学習を生かして実践しようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9 10	9表現を楽しもう	・俳句,短歌,エッセー,物語など,いろいろなジャンルの作品創作を通じて,言葉を用いて表現することを楽しむ。 ・読み手に伝わるよう,表現を効果的に工夫し,自分ならではの作品を創作する。	○			・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し,話や文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期考査 授業態度 小テスト 課題
				○		・相手の反応に応じて言葉を選んだり,場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど,相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。	
					○	・文学作品の創作に意欲的に取り組み,読み手を意識しながら粘り強く表現の仕方を工夫して,今までの学習を生かして自分が思い描いたことを的確な言葉で表現しようとしている。	
11 12 1	心をつかむ表現	・「表現」活動を振り返り,表現の工夫が他者とのやりとりで重要であることを理解し,言葉を吟味し適切に使う態度を養う。	○			・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し,話や文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。	
				○		・自分の思いや考えを明確にし,事象を的確に描写したり説明したりするなど,表現の仕方を工夫している。	
					○	・社会で必要とされている表現の在り方について考え,学習の見通しをもって自分の表現に生かそうとしている。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	地理探究	単位数	3単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	地理探究(東京書籍) 新詳高等地図(帝国書院)			副教材等	新編フォトグラフィア地理図説 2024(とうほう)

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	・地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深める。 ・我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
・地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、諸事象の空間的特徴や気息性を考察して現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、世界の諸地域の特徴や様相から現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。	・地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想して、考察、構想したことを効果的に説明し、それらをもとに議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行い、その中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持ち、社会へ参画することへの意識を高めている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境	地形や気候などの分布や成因について理解し、それらと人間生活との関わりについて深く考察する。	○	○	○	地図や衛星画像などの読み取りを通して、自然環境の様相と成因、人間生活との関係に着目しながら理解している。 さまざまな地形や気候の特徴や人間生活との関わりについて多面的・多角的に考察している。 自然環境と人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考查 学習プリント 課題 授業態度
5 6	第2章 産業と資源	さまざまな産業の発展過程や、資源の分布の偏在性、それに伴う産業の地域性について考察する。	○	○	○	さまざまな産業や資源の偏在性や地域ごとの特徴について理解している。 さまざまな産業や資源の地域差について、その様相や原因について多面的・多角的に考察している。 産業や資源の地理的特徴について意欲的に追究し、とらえようとしている。	
7	第3章 交通・通信・観光	交通・通信網と物流や人の移動に関する諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向を考察する。	○	○	○	交通通信網と物流や人の移動に関する諸事象における空間的な規則性、傾向性を理解する。 交通通信網や輸送に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性の発生要因について、多面的、多角的に考察している。 交通通信網と輸送に関する諸事象に関連する地球的課題の要因について、意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考查 学習プリント 課題 授業態度
8	第4章 人口、村落・都市	世界の人口や都市・村落などに関わる諸事象について空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向を考察する。	○	○	○	人口や都市・村落に関わる諸事象における空間的な規則性、傾向性を理解する。 人口や都市・村落に関わる諸事象における空間的な規則性、傾向性の発生要因について、多面的、多角的に考察している。 人口や都市・村落に関わる諸事象に関連する地球的課題の要因について、意欲的に追究し、とらえようとしている。	
9	第5章 生活文化、民族・宗教	衣・食・住などの生活文化や、民族・宗教などに関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向を考察する。	○	○	○	世界の諸地域の生活文化や民族・宗教などについての知識を有している。 生活文化や民族・宗教に起因する地球的課題の要因や動向について、多面的、多角的に考察している。 生活文化や民族宗教などに関わる諸事象に関連する地球的課題の要因について、意欲的に追究し、とらえようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
10	第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 第1節 東アジア―項目ごとに整理して考察する― 第2節 東南アジア―項目ごとに整理して考察する―	地域区分の意義と方法について理解を深め、地域の特徴について、項目ごとに整理して考察する。	○			地域区分の意義と方法について理解し、項目ごとに整理して把握することができる。	定期考査 学習プリント 課題 授業態度
				○		各地域の地域的特色について、項目ごとに整理し、多面的、多角的に考察している。	
					○	地域区分の意義と方法や、各地域の地域的特色について、意欲的に考察しようとしている。	
11	第3節 南アジア―経済成長に着目する― 第4節 西アジアと中央アジア―二つの地域を比較する― 第5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ―二つの地域を比較する―	経済発展の著しい地域の 地域的特色やその変化について理解し、二つの地域を比較することで地域的特色の差異について多面的、多角的に考察する。	○			経済発展の著しい地域の地域的特色やその変化について理解している。	定期考査 学習プリント 課題 授業態度
				○		二つの地域を比較することで、地域的特色の差異について、多面的、多角的に考察している。	
					○	諸地域の地域的特色の変化や、二つの地域を比較することで分かる地域的特色の差異について、意欲的に考察しようとしている。	
12	第6節 ヨーロッパ―地域統合に着目する― 第7節 ロシア―項目ごとに整理して考察する― 第8節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する―	地域統合のありかたや、規模の大きな地域について、その中の細かな差異などについて多面的、多角的に考察する。	○			地域統合の背景や過程、現在の状況について理解している。	定期考査 学習プリント 課題 授業態度
				○		地域統合の課題や、規模の大きな地域の中の細かな差異について、多面的、多角的に考察している。	
					○	地域統合の課題や規模の大きな地域の中での細かな差異について、意欲的に考察しようとしている。	
1	第9節 ラテンアメリカ―項目ごとに整理して考察する― 第10節 オセアニア―項目ごとに整理して考察する― 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 第1節 日本の地理的諸課題を読み解く 第2節 持続可能な国土像の探究	日本の国土像について理解を深め、日本の地理的諸課題や持続可能な国土像について多面的、多角的に考察する。	○			世界の諸地域の地域的特色や、日本の国土像について、理解を深めている。	定期考査 学習プリント 課題 授業態度
				○		日本の地理的諸課題や持続可能な国土像について、多面的、多角的に考察している。	
					○	持続可能な国土像について、意欲的に考察しようとしている。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	政治・経済	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	最新 政治・経済(実教出版)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	公共で学んだ知識や技能をさらに深め、よりよい社会の実現のために、事実を基に多面的・多角的に考察し、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論を重ねたりして、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深めることを目指す。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会に見られる複雑な課題を把握し説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して合意形成や社会参画に向かう力を、身につけている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めることができている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	第1部 現代日本の政治・経済 第1編 現代日本の政治 第1章 現代国家と民主政治	政治とは何か、民主政治の基本原則とは何か、などの基本事項を理解し、これから政治に関わっていく主体的な態度を育成する。	○			政治と法の意義と機能、議会制民主主義などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考查 授業態度 ノート・プリント
				○		望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
					○	民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
5 6	第2章 日本国憲法と基本的人権	基本的人権の保障と法の支配などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考查 授業態度 ノート・プリント
				○		民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	日本国憲法と基本的人権における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
7	第3章 日本の政治制度と政治参加	議会制民主主義、地方自治など現代日本の政治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考查 授業態度 ノート・プリント
				○		望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
					○	現代日本の政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
8 9	第2編 現代日本の経済 第1章 現代の経済社会	経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考查 授業態度 ノート・プリント
				○		経済活動について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	経済社会の変容とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	
10 11	第2章 現代の日本経済と福祉の向上	消費者問題、公害問題、労働問題などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			消費者問題、公害問題、労働問題などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	定期考查 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	現代の日本経済と福祉の向上における学習上の課題を、意欲的に解決しようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
12	第2部 現代の国際政治・経済 第1編 現代の国際政治	国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割、国際貢献などについて現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割、国際貢献などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	授業態度 ノート・プリント
				○		国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
1	第2編 現代の国際経済	貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、国際協調の必要性などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めると共に、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。	○			貿易の現状と意義、国民経済と国際収支、国際協調の必要性などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。	
				○		相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	数学Ⅱ	単位数	4単位 (1～3学期)	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	最新 数学Ⅱ(数研出版)			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	第4章 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数を含む方程式、不等式	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	○			弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。	授業態度 課題 定期考査
				○		三角比の定義を、三角関数の定義に一般化して考察することができる。	
					○	$y = \sin\theta$ と $y = \cos\theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味、関心をもつ。	
6	6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。	
				○		2倍角の公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式の角を統一して考察することができる。	
					○	加法定理から、2倍角の公式、半角の公式を導こうとする。	
7 8	第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ 3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ 6. 常用対数	指数関数、対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。	
				○		指数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。	
					○	指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9 10	第6章 微分法と積分法 第1節 微分法 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. いろいろな関数の微分 4. 接線 5. 関数の増減 6. 関数の極大・極小 7. 関数の最大・最小 8. 方程式・不等式への応用	微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○			接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。	授業態度 課題 定期考査
				○		曲線上にない点 C から曲線に接線を引くとき、接点 A における接線が点 C を通ると読み替えることができる。	
					○	曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。	
10 11	第2節 積分法 9. 不定積分 10. 不定積分の計算 11. 定積分 12. 定積分の性質 13. 面積, 研究	積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○			不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。	
				○		面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかくて考察することができる。	
					○	面積が定積分で表されることに興味・関心をもち、考察しようとする。	
12 1 2	数学Ⅱ演習	既習の知識を利用し、問題を解くことができるようにする。	○			公式を用いて、解答を導くことができる。	授業態度 課題
				○		問題の意味を捉え、的確な方法で解答することができる。	
					○	様々な問題を興味・関心をもち、考察しようとする。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	科学と人間生活	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	科学と人間生活（東京書籍）		副教材等	新課程 ニューサポート 科学と人間生活（東京書籍）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。また、自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを見通しをもって行うことなどを通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6	2編 物質の化学 1章 材料とその利用 1 リサイクルとは何か 2 金属の性質とその再利用 3 プラスチックの性質とその再生利用	・循環型社会を目指す必要性と3Rについて理解する。 ・金属と非金属の性質の違いを比較して、金属に特有の性質について理解する。 ・プラスチックや金属の再生利用の基本について理解し、その重要性について考える。	○			・3Rや循環型社会の利点や課題について理解している。 ・金属やプラスチックの再生利用の利点について、資料などを基に科学的に考察して見だし、表現している。 ・学んだことや生活経験を生かして、物質循環の実現に向けて、主体的に課題を考えることができる。	定期考査 授業態度 授業ノート 課題
7 8 9	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用 1 熱とは何か 2 エネルギーの利用と私たちの暮らし	・熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。 ・熱の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	○			・熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用についての基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解している。 ・熱の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもち、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 ・熱の性質とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査 授業態度 授業ノート 課題
10 11 12 1	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影響 4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害 1 身近な自然景観の成り立ち 2 自然災害と防災	・視覚と光について、人間生活と関連付けて理解する。 ・日本における自然環境の特徴を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など、人間生活が自然環境と深く関わっていることを学ぶ。	○			・日本列島における自然環境の特徴について理解している。 ・自然災害の起きる原因や条件を理解し、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。 ・日本の自然環境がもたらす災害と恩恵について関心をもち、意欲的に学習しようとする。	定期考査 授業態度 授業ノート 課題

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	体育	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	Active Sports (大修館)

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを目指す。 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	体づくり運動	・心と体の関係に気づき、仲間と交流する。	○			・自己のねらいに応じて効果的な成果を得るための適切な運動の行い方を理解できる。	授業態度 学習カード
				○		・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	
					○	・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。	
	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○			・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。	
				○		・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えること。	
					○	・体育理論の学習に主体的に取り組もうとしている。	
5 6 7 8	器械体操 陸上競技(競走・跳躍・投擲) ダンスから選択	・(器械体操)技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動の観察、体力の高め方を理解する。 ・(陸上競技)記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につける。 ・(ダンス)感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多	○			・(器械体操)回転系の接転技群、ほん転技群の基本的な技、巧技系の平均立ち技群の基本的な動きを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。 ・(陸上競技)技術と関連させた運動や練習を繰り返したり継続して行ったりすることで結果として体力を高めることができることを理解できる。 ・(ダンス)イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表を理解できる。	
		○		・(器械体操)自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。			

		様な楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊り方を身につけて交流や発表する。				・(陸上競技) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 (ダンス) 作品の創作や発表会に向けた仲間と話し合う場で合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えることができる。	
					○	・(器械体操・陸上競技・ダンス) 自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にできる。	
9	体育理論	・スポーツから得られる恵恩とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○			・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について理解できる。	授業態度 学習カード
				○		・自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見し他者に伝えることができる。	
					○	・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について主体的に取り組むことができる。	
9 10	球技・武道から選択 球技(ゴール型・ネット型 ベースボール型) 武道(剣道・柔道)	・(球技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・(武道) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、得意技などを用いた攻防を展開する。	○			・(球技) 型や種類によって必要な体力要素がありその型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができる。 ・(武道) 伝統的な考え方とは対戦相手は「道」を追及する大切な仲間であることを理解できる。	授業態度 学習カード
					○	・(球技) チームでの学習で状況に応じてチームや自己の役割を他者に伝えることができる。 ・(武道) 練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。	
					○	・(球技) 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすることができる。 ・(武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとするすることができる。	
10	体づくり運動	・健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画たて、取り組む。	○			・体力の構成要素は健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関連していることを理解することができる。	授業態度 学習カード
					○	・学習課題に応じて、これまでに学習した内容を学習場面に応用することができる。	
					○	・一人一人の違いを大切にし、健康・安全を確保することができる。	
11 12 1 2	球技・武道から選択 球技(ゴール型・ネット型 ベースボール型) 武道(剣道・柔道)	・(球技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・(武道) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、得意技などを用いた攻防を展開する。	○			・(球技) 型や種類によって必要な体力要素がありその型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができる。 ・(武道) 伝統的な考え方とは対戦相手は「道」を追及する大切な仲間であることを理解できる。	授業態度 学習カード
					○	・(球技) チームでの学習で状況に応じてチームや自己の役割を他者に伝えることができる。 ・(武道) 練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。	
					○	・(球技) 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすることができる。 ・(武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとするすることができる。	

令和 7 年度 年間学習指導計画案

科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2 単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	VISTA English Communication Ⅱ (三省堂)		副教材等	・VISTA English Communication Ⅱ WORKBOOK(三省堂) ・ユメタン 0 (アルク)	

Ⅰ. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養うことができる。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力をつけることができる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを利用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解しようとしたり、これらを利用して適切に表現したり伝え合おうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	LESSON 6 Smart Agriculture	●スマート農業について、理解して考えを深めることができる。 ●スマート農業／忘れられない経験／ポスターの感想／ドローンの危険性についてやりとりしたり、ロボットの活用場面について発表したり、ポスターの文言を書くことができる。 ●現在完了形の受け身／助動詞+受け身、助動詞+受け身を使い、理解したり、発信したりすることができる。	○			現在完了形の受け身／助動詞+受け身に関する事項について理解し、活用できる。 スマート農業について、理解を深めるために、内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握している。また、その内容について話したり書いたりして、相手にわかりやすく伝えている。 本文に関連する内容について、ペアで話したり、自分の意見を伝えたりして自分の考えを整理し、自分の意見を表現しようとしている。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト
5 6	ENJOY READING! 1 The Open Window	●ナトル氏と登場人物のやり取りで進む物語について、理解して考えを深めることができる。 ●物語について、続きを想像して、書いたり発表することができる		○		物語について、理解を深めるために、内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握している。 本文に関連する内容について、ペアで話したり、自分の意見を伝えたりして自分の考えを整理し、自分の意見を表現しようとしている。	
7 8	LESSON 7 Martial Art on Tatami	●競技かるたについて、理解して考えを深めることができる。 ●競技かるた／アニメについてやりとりしたり、正月の風物について発表したり、日本のお土産について書くことができる。 ●関係代名詞の非制限用法／関係代名詞 what を使い、理解したり、発信したりすることができる。	○			関係代名詞の非制限用法／関係代名詞 whatに関する事項について理解し、活用できる。 競技かるたについて、理解を深めるために、内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握している。 本文に関連する内容について、ペアで話したり、自分の意見を伝えたりして自分の考えを整理し、自分の意見を表現しようとしている。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト
9	ENJOY READING! 4 The Restaurant of Many Orders	●『注文の多い料理店』の物語について、理解して考えを深めることができる。 ●物語について、続きを想像して、書いたり発表することができる		○		物語について、理解を深めるために、内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握している。 本文に関連する内容について、ペアで話したり、自分の意見を伝えたりして自分の考えを整理し、自分の意見を表現しようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
10 11	LESSON 8 Biologging	● バイオロギングについて、理解して考えを深めることができる。	○			<u>分詞構文／強調構文</u> に関する事項について理解し、活用できる。	
		● バイオロギング／海の生き物／好きな食べ物についてやりとりしたり、学校内の出来事について書いたり、ペットの記録計について書いて発表したりすることができる。		○		<u>バイオロギング</u> について、理解を深めるために、内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握している。また、その内容について話したり書いたりして、相手にわかりやすく伝えている。	
		● 分詞構文／強調構文を使い、理解したり、発信したりすることができる。			○	本文に関連する内容について、ペアで話したり、自分の意見を伝えたりして自分の考えを整理し、自分の意見を表現しようとしている。	
11	ENJOY READING! 3 The Christmas Truce	● 第一次世界大戦におけるクリスマス休戦の文章について、理解して考えを深めることができる。		○		<u>物語</u> について、理解を深めるために、内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握している。	
		● 物語について、続きを想像して、書いたり発表することができる			○	本文に関連する内容について、ペアで話したり、自分の意見を伝えたりして自分の考えを整理し、自分の意見を表現しようとしている。	
12	ENJOY READING! 2 My Dream	● 宇宙飛行士の野口聡一さんの夢に関する文章について、理解して考えを深めることができる。		○		<u>物語</u> について、理解を深めるために、内容を読んだり聞いたりして、概要や要点を把握している。	
		● 物語について、続きを想像して、書いたり発表することができる			○	本文に関連する内容について、ペアで話したり、自分の意見を伝えたりして自分の考えを整理し、自分の意見を表現しようとしている。	
1	総合問題演習						

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	VISTA Logic and Expression Ⅱ (三省堂)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	聞いたり、読んだりして得た情報や考えなどを、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことで論理的に発信し、伝え合うことができる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
英語の文法的特徴やきまりを理解している。コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、論理的に伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、情報や考えなどを論理的に発表したり、書いている。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、情報や考えなどを論理的に発表しようとしていたり、書こうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	Lesson 1 Guess Who? 誰かわるかな?	●「人物やキャラクター」を紹介するために、その特徴を表す表現を理解して、考えを深めることができる。	○			紹介したい「人物やキャラクター」についての特徴を伝えるために必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	定期考査 発問評価 提出物
		●「人物やキャラクター」を紹介するために、その特徴について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫してまとめ、理由とともに詳しく話して伝えることができる。		○		「人物やキャラクター」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「人物やキャラクター」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
5	Lesson 2 Space Travel 宇宙旅行に行こう!	●「宇宙で体験してみたいアイデア」に応募するために、「宇宙」や「応募」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	○			「宇宙で体験してみたいアイデア」に応募するために、必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	
		●「宇宙で体験してみたいアイデア」に応募するために、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。		○		「宇宙で体験してみたいアイデア」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「宇宙で体験してみたいアイデア」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
6	Lesson 3 Where is the Post Office? 道案内をしよう	●道案内をするために、「道順」や「目印」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。	○			道案内をするために、必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	定期考査 発問評価 提出物
		●道案内をするために「道順」や「目印」などについて、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。		○		道案内について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	道案内について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
7	Lesson 4 Wonderful World ここオススメ!	●「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために、「名所」や「特徴」などを具体的に示す表現を理解して、考えを深めることができる。	○			「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために、必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	定期考査 発問評価 提出物
		●「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。		○		「世界のおすすめスポット」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「世界のおすすめスポット」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
8	Lesson 5 Job Search 目指せ!! プロフェッショナル	●面接で自分をアピールするために、「職業」に関する表現を理解して、考えを深めることができる。 ●面接で自分をアピールするために、「職業」に関して、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。	○			面接で自分をアピールするために、必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	定期考査 発問評価 提出物
				○		「職業」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「職業」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
9	Lesson 6 New-type Robots! たよになるね!	●「ロボットコンテスト」に出展するロボットを紹介するために、「製品の能力や特徴」などを具体的に示す表現を理解して、考えを深めることができる。 ●「ロボットコンテスト」に出展するロボットを紹介するために、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。	○			「ロボットコンテスト」に出展するロボットを紹介するために必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	
				○		「製品の能力や特徴」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「製品の能力や特徴」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
10	Lesson 7 Enjoy Japanese Foods 和食をどうぞ!!	●外国の人に「和食」を動画で発信するために、紹介したい「料理やレシピ」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●外国の人に「和食」を動画で発信するために、「料理やレシピ」について、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに詳しく話	○			外国の人に「和食」を動画で発信するために、必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	
				○		「和食」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「和食」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
11	Lesson 8 Looking for an Apartment 海外での生活	●「ルームメイト」募集広告を書くために、「住居」に関する表現を理解して、考えを深めることができる。 ●「ルームメイト」募集広告を書くために、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。	○			「ルームメイト」募集広告を書くために必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	
				○		「住居」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「住居」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
12	Lesson 9 Ideas from Nature 生き物ってすごいね!	●身近な「バイオミクリー」についてプレゼンテーションするために、紹介したい「バイオミクリー」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ●身近な「バイオミクリー」についてプレゼンテーションするために、「バイオミクリー」について、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに詳しく話して伝えることができる。	○			身近な「バイオミクリー」についてプレゼンテーションするために、必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	
				○		「バイオミクリー」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「バイオミクリー」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	
1	Lesson 10 Let's Learn about SDGs 私たちにできること!	●「社会問題とその解決のためにできること」のアイデアを応募するために、「SDGs」に関する表現を理解して、考えを深めることができる。 ●「社会問題とその解決のためにできること」のアイデアを応募するために、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。	○			「社会問題とその解決のためにできること」のアイデアを応募するために、必要となる語彙や文法を理解し、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話す技能を身に付けている。	
				○		「社会問題とその解決のためにできること」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話している。	
					○	「社会問題とその解決のためにできること」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、伝え合い、聞き取り、書き、詳しく話し合おうとしている。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツ理論	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	スポーツ概論(大修館書店)			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	生涯を通してスポーツの推進及び発展に関わることができる資質・能力の育成を図るため、スポーツを実践するだけにとどまらず、「みる」、「支える」、「知る」という視点も含めて、広く、文化、経済、教育などの側面から捉え、スポーツ科学の研究成果を踏まえた教養を身に付ける。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法について必要な知識・技能を身に付けようとしている。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養おうとしている。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養おうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	第3章 2 体カトレーニングの方法を知ろう	・体カトレーニングの様々な方法を理解する。	○			・体カトレーニング方法に必要な基礎知識を理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 発問評価
				○		・体カトレーニングに必要な基礎知識について、多角的な視点から、課題の解決に向けて思考し判断するとともに、自らの考えを論理的に伝えることができる。	
					○	・体カトレーニングに主体的に取り組もうとしている。	
8 9 10	第4章 スポーツライフのマネジメントを考えよう 1 自分の体をマネジメントしよう	・体調のチェック、ウォーミングアップとクーリングダウンについて理解する。 ・中・高校生のスポーツでのケガと傾向について理解する。 ・スポーツ現場での救急・応急処置を理解する。 ・スポーツによる四肢の外傷・障害を理解する。 ・スポーツによる内科的障害を理解する。	○			・競技力を向上させる練習方法について、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 発問評価
				○		・スポーツ現場でのケガについて思考・判断するとともに、その予防について自分で実践できる。	
					○	・ケガの予防について主体的に取り組もうとしている。	
11 12	2 栄養でパフォーマンスを高めよう	・スポーツ栄養の基礎を理解する。	○			・スポーツ栄養について、理解したことを言ったり書いたりしている。	
				○		・パフォーマンス向上のための栄養の摂り方について思考・判断するとともに、解決に向けた自らの考えを論理的に伝えることができる。	
					○	・日々の栄養管理について、主体的に取り組もうとしている。	
1	第5章 スポーツ指導者をめざそう 1 スポーツキャリアと職業について知ろう 2 指導の場としての学校における体育・スポーツ活動やスポーツイベントについて知ろう 3 指導の場としてのスポーツクラブについて知ろう 4 効果的なスポーツの指導方法を知ろう	・スポーツキャリアについて理解する。 ・スポーツにかかわる職業とタイプについて理解する。 ・学校における体育・スポーツ活動やスポーツイベント・スポーツマネジメントについて理解する。 ・地域スポーツクラブのビジョンと運営について理解する。 ・効果的なスポーツ指導をする上で知っておくべきことを理解する。 ・スポーツとの多様な関わり方について理解する。	○			・スポーツキャリアやマネジメント、スポーツイベントについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 発問評価
				○		・スポーツ指導者を目指す上で必要なことを自らの考え論理的に伝えることができる。	
					○	・スポーツ指導者を目指す上で必要なことについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツA	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	Active Sports (大修館)

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	生涯にわたって運動やスポーツを継続するためには、技術の特徴に応じた学習の仕方があることや技能を高めるために、何をどのように取り組めばよいのか、健康・安全をどのように確保するのかなどの運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの多様な関わり方を見つける。	スポーツを推進及び発展させる視点から課題を発見し、他者に伝える力を養う。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について主体的に取り組む態度を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	トレーニングの理論と実践	・トレーニングの理論を理解し実践の仕方を理解する。	○			・トレーニングの種類と役割を理解できる。	定期考査 授業態度
				○		・トレーニングをプログラムすることができる。	
					○	・トレーニングの学習に主体的に取り組もうとしている。	
6 7	安全の確保と応急手当	・救命救急法の講習やブール実習で習得した知識や技能を実習等に役立てる。 ・救命救急法の講習やブール実習で習得した知識や技能を実習等に役立てる。	○			・実習の手順や方法が理解できる。	
				○		・習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用できる。	
			○			・実習の手順や方法が理解できる。	
8 9	スポーツ外傷 スポーツドーピングの防止	・外傷の悪化を防いだり、痛みを緩和したりすることを理解する。	○			・外傷の種類を理解することができる。	
				○		・外傷の悪化を防ぐ方法を適切に判断し活用することができる。	
					○	・スポーツ外傷、スポーツドーピングの防止について主体的に取り組もうとしている。	
10 11	スポーツ栄養学	・スポーツの多様な理論と実践に関する課題研究	○			・スポーツにおける栄養の役割を理解することができる。	
				○		・栄養とコンディション維持関連させることができる。	
					○	・課題研究に自主的に取り組むことができる	
12 1	卒業課題研究	・班分けし、スポーツにおける課題を設定し、その解決方法を考える。	○			・課題解決のための方法や調査結果を理解することができる。	
				○		・研究したことを他者に確実に伝えることができる。	
					○	・課題研究に自主的に取り組むことができる	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツB	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	スポーツの多様な推進及び発展に寄与するためには、対象者に応じたスポーツの指導法や参加者の経験や体力に応じた健康・安全の確保の仕方を理解できるようにする。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身につける。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6	五島長崎国際トライアスロン準備・運営ボランティア	・各ライフステージやライフスタイルによって技術の習得のみならず、健康の維持、仲間づくり、ストレスの発散など多様であることを理解する。	○			・大会運営について仕組みを理解することができる。	授業態度
				○		・スポーツの推進方法を適切に理解し他者に伝えることができる。	
					○	・大会準備、運営についての学習に主体的に取り組もうとしている。	
7 8 9	ニュースポーツ実習Ⅰ(フットサル)	・参加者の目的や年齢、経験、障害の有無等に応じた基本的な指導方法を理解する。	○			・競技方法を理解できる。	
				○		・ルールや用具の工夫する点について考えることができる。	
					○	・学習に主体的に取り組もうとしている。	
10 11	乗馬実習	・スポーツの参加目的は、発達段階やライフステージによって多様であることを理解する。	○			・競技方法を理解できる。	
				○		・ルールや用具の工夫する点について考えることができる。	
					○	・学習に主体的に取り組もうとしている。	
12 1	ゴルフ実習	・多世代や多目的に対応したスポーツへの参画がスポーツ推進及び発展するために有効な方法の1つであることを理解する。	○			・競技方法を理解できる。	
				○		・ルールや用具の工夫する点について考えることができる。	
					○	・学習に主体的に取り組もうとしている。	

令和7年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツC	単位数	3単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。 ・採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに技能を身につける。 ・武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに技能を身につける。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
(陸上競技) 各種目特有の技能を身につけ、仲間と継続的に活動するための調整の仕方を理解する。 (武道) 相手の動きの変化に応じた基本動作から、得意技を用いて技能を発揮するとともに攻防を理解する。	(陸上競技)(武道) 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与することができるよう、運動実践につながる態度を養う。	(陸上競技) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする態度を養う。 (武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にする態度を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	(陸上競技)	・(陸上競技) 採点競技への多様な関わり方を理解する。 ・(武道) 武道への多様な関わり方を理解する。	○			・(陸上競技)(武道) 他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで表現できる。	授業態度
5	・スプリントドリル			○		・(陸上競技)(武道) 発見した動きの改善点や効果的な改善策について、活動場面で判断して仲間に伝えることができる。	
6	・SAQトレーニング				○	・(陸上競技)(武道) 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性に寄与する学習に意欲的に取り組むことができる。	
7	・トレーニング理論	・(陸上競技)(武道) 自己や仲間の課題を発見し判断する。	○			・(陸上競技)(武道) 体力や技能の程度、性別や目的の違いを超えてスポーツを楽しむために調整することができる。	
8	・(武道) 礼法、作法			○		・(陸上競技)(武道) 映像や記録など客観的なデータから効果的な改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことの根拠を示し伝えることができる。	
9	・ランニングトレーニング				○	・(陸上競技)(武道) 自他の状況及び環境の変化に応じた目的や活動の仕方に意欲的に取り組むことができる。	
10	・技の研究		○			・(陸上競技)(武道) 発表会や競技会などの目的に応じた企画。	
11	・ウエイトトレーニング	・(陸上競技)(武道) 公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めることができる。		○		・(陸上競技)(武道) 練習会や競技会を行う場面で自己や仲間の活動を振り返りよりよいルールやマナーについて提案することができる。	
12	・ウエイトトレーニング				○	・(陸上競技) 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び練習の仕方やルールの修正などを大切にすることができる。	
1	(武道)				○	・(武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、禁止事項などの試合のルールを遵守しようとする事ができる。	